

先輩紹介

A・Yさん

所属：財務部

発注・検収課

入職年度：2013年



○現在の業務について

私の現在の業務は、主に教員から依頼された物品等の発注と教員が購入した物品等の検収、本学発注・検収制度の改善に向けた他大学の発注・検収制度の調査および次年度に向けた教員向けマニュアルの作成や整備等です。

財務部 発注・検収課は、平成 27 年度より、本学に交付された科学研究費等公的資金で取得する物品等について発注及び検収の適正性を担保する目的で発足いたしました。「検収」とは、納品された物品等と納品書等を照らし合わせて、本学に納入されたことを確認することです。

業者と教員との不必要で緊密な関係性を解消するため、事務部門により発注・検収業務を行うことが原則とされており、その事務部門として発注・検収課が設置されました。

○渡辺学園を選んだ理由

そもそも、なぜ企業ではなく、大学業界を志望したのかというと、以前から人の成長に係わる仕事に興味があったためです(学生時代のアルバイトでは塾の講師をしていました)。

人の成長に係わる場は多岐にわたりますが、その中でも社会に出る前の最後の教育の場となり得る「大学」という場は、人が成長し、社会に輩出されていくうえで非常に大切な所だと考えています。

そして、大学が発展していくことで「人」が育ち、社会を支えていくことになると考えています。

私は、このような社会を支えていく人の成長に係わる仕事がしたいと思い、大学業界を志望いたしました。

また、なぜ本学を選んだのかと言うと、本学の百周年記念館にある博物館を見学した際、当時そこに展示してあった服飾美術学科生の卒業制作作品(ドレス)に感動し、このように学生生活の集大成として作品を残していく学生を社会に輩出している本学に魅力を感じたからです。

○仕事のやりがい

研究費予算の発注と検収に携わることは、研究資金の不正使用を防止することが目的ですが、それだけでなく、本学の教員(研究者)が研究費の不正使用等についてあらぬ疑いをかけられることなく、安心して研究に取り組むことができる環境整備にも繋がり、それが日本の科学の力に還元されていると感じています。

そのため、間接的ではありますが、発注・検収課での仕事を通じて、日本の研究の一端を担っていると感じております。

○応募者へのアドバイス

少子化やグローバル化が進む中、大学を取り巻く環境はさらに厳しくなり、変革が求められているため、今後は未知のものに挑戦していく姿勢が必要になると思います。

チャレンジ精神を持って我々と一緒に働きませんか。皆様と共に働ける日を楽しみにしております。